

【再質問】 6番 長嶺一也

●新型コロナウイルス感染症対策について

・若い世代では、副反応への不安などから、ワクチン接種に否定的または検討中として、ワクチン接種が進まないとの報道があった。

そこで、わが町における12～39歳までの世代の接種が済んだ人の割合を尋ねる。

併せて、40歳以上の世代の接種済の割合について尋ねる。

・接種券対象者の漏れをなくすチェックはどのようにしているのか尋ねる。

・持病があって接種できない人や多様な考えの下、接種しない人もいると思うが、接種しない人が感染し、その人から関係する周りの人が感染することもあり得ると思うが、これについて、町はどのように考えているか尋ねる。

・学校での情報提供について、ワクチン接種の効果ばかりでなく、副反応の発生状況も説明しているか尋ねる。

・休校、学年閉鎖等の対応をしたが、その効果をどのように評価しているのか尋ねる。

・不幸にも感染者・濃厚接触者となってしまった児童生徒の不登校又はいじめられた実態はなかったということでよいのか尋ねる。

・中学3年生は、高校受験中だが、特筆できる感染予防対策はどのように行っているのか尋ねる。

・最近では、県は、変異株のオミクロン株を上回る感染力を持つとされる派生型「BA・2」に7人が感染していたと2月25日に発表した。この「BA・2」に係る町民への情報提供や対応策をどのように行うのか尋ねる。

【再質問】 6番 長嶺一也

● J R 只見線利活用促進について

- ・ 答弁のあった事業は、費用対効果が図られていると思うか尋ねる。思う・思わない のいずれかの根拠を尋ねる。
- ・ 答弁のあった維持管理費 589 万 5 千円の負担金は町民の税金だが、その金額を支出するにもかかわらず、わずか 20 万円の駅前イルミネーションによるおもてなし事業しか行わない計画をどう町民に説明するのか尋ねる。
- ・ 私のつたないアイデアではあるが、運用方法は別として、各駅にレンタサイクルを置いて町内をめぐっていただく。
- ・ あいあいタクシーでモデル観光コースを回る。
- ・ 伊佐須美神社や仏都会津の三十三観音めぐりのうち、本町には、野口英世ゆかりの弘安寺をはじめとするそれら 1 / 3 の 1 1 の観音堂があるので、それらを P R するとともに観光資源として活用する。
- ・ 本町の観光パンフレットを只見線の主要駅に置く。
- ・ 土木遺産に認定された只見線鉄道施設群のうち、大川と宮川に架かる橋りょうの撮影スポットと通過予定時刻を H P に掲載するとともに、チラシを作って主要駅に置き、撮り鉄などの人を呼び込む。などを考えた。素人の私でさえ、複数件考えつくのに、なぜ、本町は、冬季間だけの 2 0 万円の一つの事業しか提案できなかったのか尋ねる。
- ・ 再開通に向けたフォトコンテスト、県主導の只見線利活用プロジェクトと連携した交流人口拡大のための広域的な取組とは何か、令和 4 年度の予算書に明記されていない中で、いつからどのように実施するのか具体的に示せ。

【再質問】 6番 長嶺一也

●令和4年度の町の組織改編について

- ・ 今回の産業振興課の組織改編は、林業振興を図るための組織改正とも思うが、本町の林業を担うマンパワーの資質向上を図るための方策をどのように考えているか尋ねる。
- ・ 令和4年4月1日に林業アカデミーふくしまが開講されるが、マンパワー向上のため、当該施設を有効活用していくべきと考えるが、町の考えを尋ねる。
- ・ 長期研修を受講する人材発掘は困難であっても、行政職や専門職の短期研修のプログラムメニューはあるようなので、参加できる講座には可能な限り参加させるべきと思うが、町の考えを尋ねる。
- ・ とにかく、県民の税金により整備された施設であるので、本町の面積の大部分が山林である地域を豊かにするためにも、林家の育成のためにも、町内森林の持続可能な保全に資する人材育成のためにも、アカデミーを活用すべきだと思う。どう活用していくのか、見解を尋ねる。
- ・ 狩猟免許の新規取得や更新に係る経費の支援メニューは、どのようなものがあるのか尋ねる。
- ・ ニホンザルの被害はあるか。ある場合、どのような被害対策やどのように駆除していくのか尋ねる。

【再質問】 6番 長嶺一也

・教育委員会の組織改編だが、教育長の所信を「町民にも示すべき」と考え質問した。にもかかわらず、答弁の前置きに、「12月の全員協議会において説明したとおり」との答弁に失望した次第である。全員協議会での教育長の所信が町民に伝わっていたならば、当然に今回質問はしなかった。今後、一般質問の答弁については、議員個人に対してではなく、町民に対する答弁にして欲しい。この意見に対しどのように考えるか尋ねる。

・教育長の所信が、空回りすることなく、どのように現場の教職員に伝え、理解させ、実行させていくのか尋ねる。

・全ての教職員が同じベクトルを向いて進んでいくという理解でよいか尋ねる。

・県教委が今年度実施した「ふくしま学力調査」の分析報告書が去る2月9日に公表されたが、その結果について、どのように分析し、今後、どのように本町の子どもたちの学力向上につなげていくのか尋ねる。

・郷土資料館に行ってみたいと思わせるようなメインとなる展示物や仕掛けは、どのようなものがあるか尋ねる。

・本資料館は、「地域とともにある学校づくりと幼小中教育の連携による次代を担う人材育成プロジェクト」と位置付け、民族・考古資料等の収集、調査及び研究拠点施設として整備を進めることとしているが、現在の3名の人材でどのようにやっていくのか尋ねる。

・新年度から文化系の組織を強化しなければ間に合わないと思うが、町の考えを尋ねる。